



埼玉医療生活協同組合 羽生総合病院 広報誌

Vol.38
2019年7月

理念

生命を安心して預けられる病院 健康と生活を守る病院



[編集・発行] 羽生総合病院 広報マーケティング委員会 / 〒348-8505 羽生市下岩瀬446番地 TEL.048-562-3000



厚生労働省
臨床研修指定病院

平成31年度 埼玉医療生活協同組合入職式



辞令交付



辞令交付



代表挨拶

春風の心地よいおだやかな季節を迎え、埼玉医療生活協同組合合同入職式を4月1日に挙行致しました。

新入職員は、羽生総合病院67名、皆野病院7名、あいの郷3名 計77名と創立以来最多の入職者を迎えました。新入職員を代表して松崎初期研修医から「研修を積み重ねることで地域医療、そして私自身の出身地でもある埼玉県に貢献していきたいです」と決意表明がありました。緊張した中にもこれから目標と自ら学ぶことを怠らず努力する姿勢を感じました。

地域に対する埼玉医療生活協同組合の役割を理解し、継続してサービスを提供していく事の重みを改めて痛感すると同時に身の引き締まる思いでした。

これから多くの地域医療に貢献できる人材を育成し、埼玉医療生活協同組合が同じ目的に向かい、ひとつになって協力し合い、成長し続ける組織を目指していきたいと考えております。

羽生総合病院 看護部長 青木 三栄子

2019年新入職医師紹介



高橋 晓行 (たかはし としゆき)

診療科／循環器内科・内科 出身地／群馬県
専門分野／循環器内科 趣味・特技／剣道
資格／日本内科学会総合内科専門医、
循環器学会専門医、
心血管インターベンション学会認定医 等
経歴／慶應義塾大学医学部

患者様がかかつて良かったと思える病院を作つて参ります。



伊能 崇税 (いのう そうえつ)

診療科／健康管理センター 出身地／千葉県
専門分野／消化管疾患の診断・内視鏡治療
趣味・特技／鉄道撮影
資格／人間ドック健診専門医、指導医、総合内科専門医、
消化器内視鏡専門医、胃腸科専門医
経歴／三重大学医学部

前々、前施設ともに健診センターの業務と消化器疾患の診断と治療に携わつてきました。羽生地域住民の健康管理に貢献する所存です。よろしくお願ひいたします。





松崎 彩理穂 (まつざき ありさ)

診療科／初期研修医

出身地／埼玉県

趣味・特技／絵を描く

経歴／山形大学医学部

出身地である埼玉で新たな一步を踏み出せることを嬉しく思います。研修を積み重ね、地域の医療に貢献していけるよう努力して参ります。よろしくお願ひいたします。



湯田 一広 (ゆだ かずひろ)

診療科／初期研修医

出身地／東京都

趣味・特技／競馬

経歴／滋賀医科大学医学部

他大学を卒業後、医大に入りなおしました。遡回りをしてきましたが、採用して頂いた羽生総合病院や地域の皆様の力になれるよう頑張ります。将来の希望はまだ決まっておりませんが、ご指導のほどよろしくお願ひいたします。



***** 看護部血管確保実習 *****



看護部では、今年度29名の新入職を迎えました。

例年のごとく血管確保の実習に、緊張の面持ちで臨んでいます。

先輩職員が新人たちに腕を貸し、こちらも緊張しながら、針刺しの実習に協力しています。



須影ほのぼのホーム

高齢者の方が、その人らしく、楽しい生活が続けられるように支援いたします。

認知症の方のご家族様でお困りの方はお気軽にご相談ください。

認知症対応型 共同生活介護【グループホーム】



認知症の方が小規模な生活の場・少人数を単位とした共同住居の形態で生活しています。食事の支度や掃除、洗濯などをスタッフと一緒に行ったり、やりがいや楽しみを持った毎日を過ごしています。

認知症対応型 通所介護【デイサービス】



通常のデイサービスよりも多くの職員配置となっているため、認知症の周辺症状で通常のデイサービスでは対応が困難であったり、集団になじみにくい方でも、対応がしやすい体制となっています。

介護スタッフ募集中

須影ほのぼのホームで私たちと一緒に働いてみませんか？

事前見学可能！アットホームな職場です。まずはお問い合わせください。



所在地／〒348-0034 埼玉県羽生市下川崎394-1 TEL.048-594-7373



羽生総合病院では、 PET/CT・SPECT/CTが 稼働しています

全身を一度に調べられ、がんの発見に威力を發揮することから、
がんの可能性が疑われながら他の検査で病巣が発見できない場合や、
がんの転移・再発を調べるのに有力な検査とされています。

羽生総合病院でPET/CT 検査がはじめました。

PET/CTは、がんの発見率が非常に高い検査です。この検査はごくごく簡単にいふと、がん細胞に目印をつけること、そしてその目印を映し出すことです。

がん細胞は、正常な細胞と比べて3~8倍ものブドウ糖を吸収するといわれています。この性質を利用して、体の中で多く集まるところはないか画像検査します。

放射性物質を組み込んだブドウ糖(FDG:目印)を注射して体の内部から出てくる放射線を検出し画像化します。このFDGは尿中に排泄されるため、腎臓や膀胱へは自然に集積します。また細胞の活動が激しい脳や心臓にも集積します。なので泌尿器科系のがんは発見しにくい(脳や心臓も同様)こともあります。PET検査の得意なところです。得意な部分を補うため、他の画像検査も重要な検査です。

SPECT/CT検査はごく微量の放射性物質(RI:ラ

ジオアイソトープ)を含む薬を体内に投与して病気を診断する検査です。注射などにより体内に入った微量の放射性医薬品は、特定の臓器(骨や腫瘍など)に集まり、そこから放射線(ガンマ線)を放出します。この放射線をガンマカメラと呼ばれる特別なカメラで体外から測定し、その分布を画像にすることで診断に利用します。この検査の特徴は、臓器の『形態』の他に『働き』

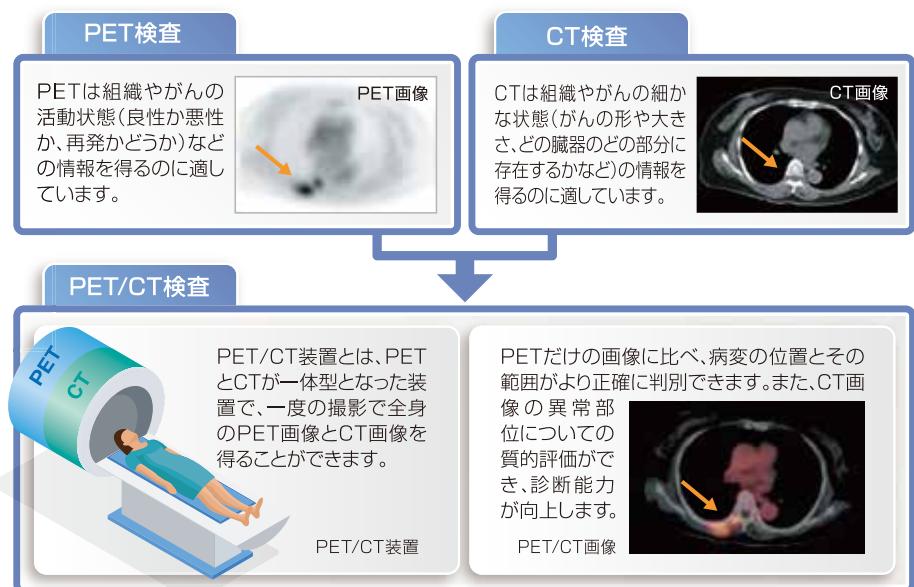


SPECT/CT

ご存知ですか？

がんの発症は 2人に1人

がん治療には早期発見がとても大切です。
定期的にPET/CTを取り入れた
人間ドックを受けましょう！



が分かることです。CT検査やMRI検査などは主に臓器の形の異常をとらえるのに対して、核医学検査は臓器の働き(機能)をとらえることができます。そのため他の検査では分かりにくい病気が見つかることもあります。検査時の苦痛も無く、副作用も非常に少ないため、多くの病気の診断に利用されています。

脳血流SPECT検査では、脳の血流量を測定し認知症かどうかがわかることがあります。心筋血流SPECT検査では、虚血性心疾患、心筋症等の評価ができます。

全身骨SPECT検査では、がんの骨転移の検索、代謝性骨疾患、骨髄炎等の有無がわかります。

どちらの検査も、放射性物質を使うというとすこし怖いイメージがあるかと思いますが、使用するRI(ラジオアイソトープ)はごくごく少量です。1回の検査での被曝量は1～15mSvほどで、体幹部のCT検査1回とほぼ同じです。

これら核医学の検査は、すべて予約制になっています。かかりの診療科でご相談ください。

放射線治療

TomoTherapy

2018年9月より、羽生総合病院にて、放射線治療が始まりました。2019年4月末まで、約1,000件の照射を行いました。

治療装置は、日本アキュレイ株式会社のトモセラピーです。この装置は、CTの装置と瓜二つです。IMRT(強度変調放射線治療)の専用機として開発されました。

IMRT(強度変調放射線治療)とは、事前のCT・MRI・PET等の画像を使って、がんの位置や大きさ・形などを特定し専用の計画装置によって、周囲の組織との関係を立体的に再現します。そのうえで治療装置を回転させながら目的のがんの形・大きさに合わせて法エネルギーX線を照射します。治療計画装置による最適化により、



がん組織には高い線量、その周辺の正常組織には放射線量を低く抑えることを可能にしています。

マルチリーフコリメーター(MLC)と呼ばれる、遮蔽フィルターをがんの形状に合わせて高速で動かし、がん細胞へ高線量を照射します。

また、この装置は、毎回CTを同時に撮影し、がんの位置を確認しながら、照射位置のずれを補正して照射を行います。